

市内石橋供養塔作例(時代順)

No.	区	地区	所在地	年代	名称(形状)	概要
1	中	本町東	赤山橋	享保11(1726)	石橋供養塔	赤山通りが鴻沼川を渡る地点。高沼干拓前の建立。100以上の村名。
2	北	奈良町	薬師堂	享保16(1731)	六地藏台石	奈良町団地の東側、ハートランド大宮南隣
3	岩	飯塚	法華寺	寛保元(1741)	地藏尊石橋供養仏	村々勸化
4	大	大成町	普門院	寛保2(1742)	地藏菩薩台石	開山堂前
5	西	内野本郷	地藏院	延享3(1746)	石橋供養塔	もと花の丘付近に所在。浅間川に架けられた石橋由来か。「右以遠近村之志造立」の銘あり。
6	岩	釣上新田	地藏堂	延享5(1748)	石橋供養仏	東武リズム幼稚園東側交差点脇の地藏堂。
7	岩	平林寺	路傍	寛延3(1750)	石橋供養塔	赤坂沼から南東200mの路傍。自然石。
8	桜	大久保領家	大泉院観音堂	宝暦5(1755)	石橋供養塔	両側面に村名多数(判読不可能なもの多い)
9	西	飯田	飯田交差点内	宝暦6(1756)	石橋供養塔	北150mの鴨川の支線に架けられていた? 右側面に10数村の名。
10	中	下落合	与野東中	宝暦6(1756)	石橋供養塔	鴻沼用水路に架かる高谷橋左岸左詰。校門脇。80以上の村名と与野の石工の名前。
11	南	松本	真乗寺	宝暦6(1756)	石橋供養塔	村内7基の石橋架橋記念。
12	北	本郷町	見沼代用水路右岸	宝暦7(1757)	石橋供養塔	本郷第五公園の北端、坂口橋の右岸橋詰。西縁に架けられた石橋の供養。側面に昭和6年改築の銘あり。
13	緑	下野田	円徳寺	宝暦7(1757)	石橋供養塔	天久保用水に架橋。
14	北	宮原町	旧中山道沿い	宝暦9(1759)	橋供養塔	宮原駅入口交差点から300m南の道路脇。かつてこの地点で排水路が中山道を横断していた。
15	浦	常盤	17号国道沿い	宝暦12(1762)	石橋並道普請供養仏	常盤9丁目の交差点歩道脇。与野道に架橋。
16	大	大成町	稲荷神社	明和3(1766)	庚申待石橋供養	国道17号線大成町4丁目交差点から南西100mの稲荷神社境内。西側150mの所の鴻沼川関係か。
17	大	三橋	茶臼塚古墳脇	明和6(1769)	石橋建立	関沼(鴨川)から左岸へ取水する農業用水路に架かる石橋。文化9(1812)の銘のある石もあり。
18	桜	五関	東福寺	安永3(1774)	石橋供養塔	勸化69村。上尾市の貝塚村、平方村も。与野と川口の石工名も。
19	岩	馬込	路傍	安永6(1777)	石橋拾ヶ所供養塔	関橋交差点から東へ700m。助成村近郷村々。綾瀬川左岸関係。
20	西	三橋	交差点脇	安永6(1777)	前渡石橋供養塔	鴨川に架かる並木橋の右岸から北西へ100mの交差点脇。2分割。三橋5丁目。
21	大	寿能	芝川沿い	安永6(1777)	石橋供養塔	大宮体育館北側の道(旧岩槻道)が芝川を渡る地点。与野町など14の助成村の記載。北沢甚之丞の名も。
22	岩	上野	路傍	天明元(1781)	石橋供養塔	日光御成道、工業団地入口交差点、北側の歩道脇。山城堀架橋か。
23	桜	塚本	釋迦堂	天明8(1788)	石橋供養塔	村内の用水路に架けられたものか。
24	西	植田谷本	六部堂内	寛政8(1796)	大乘妙典石橋供養塔	鴨川に架かる小平次の藤橋関係。
25	大	高鼻町	大宮氷川神社	寛政12(1800)	石橋供養塔	神楽殿脇。「この道すし三ヶ所」「外源太郎橋壱ヶ所之」「宮町講中」。元の位置不明。
26	大	寿能町	芝川沿い	嘉永5(1852)	石橋再建供養塔	大宮体育館北側の道(旧岩槻道)が芝川を渡る地点。世話人9名、助力村46村。角井駿河守の銘も。
27	西	宮前町	八雲神社	安政2(1855)	石橋敷石供養塔	付近に鴨川有り。「当所 寄附人 谷嶋六右工門」と記す。左側面に人名多数あるも読み辛い。
28	岩	新方須賀地区	路傍	大正15(1926)	架橋記念碑	永代橋架橋記念。粕壁町石工関根隆正の銘。
29	岩	横根地区	路傍	昭和6(1931)	橋竣工碑	開墾橋。
30	岩	本町1丁目	八雲神社	年未詳(近代)	石橋竣工之碑	停車場道、春岡道の銘。世話人、寄付者等35名の名。